

奥多摩町立小・中学校 学校紹介



校長 乙津秀敏

古里小学校

<教育目標>

いのちを大切に、共に輝き、
生きていこう
かしこく・なかよく・たくましく



副校長 藤田誠司

<学校の特色>

- ◎総合的な学習の時間「古里（ふるさと）」の時間の充実
 - ・地域の自然や文化、人材を生かした学習
 - ・高齢者福祉施設や保育園との交流
 - ・障害のある方々や他国、他地域の方々との交流
- ◎特別支援教育体制の充実
 - ・特別支援教育関係諸機関との連携
 - ・環境面及び授業のユニバーサルデザイン化



校長 小林亮介

氷川小学校

<教育目標>

自ら進んで学ぶ子
仲よくやさしい子
健康で明るい子



副校長 稲葉義愛

<学校の特色>

- ◎児童が主体的に学びを楽しむことのできる授業の実践
 - ・見方・考え方を働かせ、学んだことを次の学習に生かせる授業
 - ・人との関わりや体験的な学習を大切にした授業
 - ・各教科とのつながりを意識した授業計画
- ◎「奥多摩学習」を通して地域社会に貢献する人材の育成
 - ・コミュニティ・スクールの強みを生かした地域人材との連携
 - ・郷土芸能の継承を意識した学習



校長 原善哉

奥多摩中学校

<教育目標>

郷土を大切に、21世紀をたくましく生きる生徒の育成を目指して



副校長 竹澤大樹

<学校の特色>

- ◎主体的・協働的な学びの実現
 - ・興味・関心をもたせる授業
 - ・目的によって多様な相手との対話のある授業
 - ・学び方を振り返り、学習調整を促す授業
- ◎全員支援教育の推進
 - ・少人数の特性を生かした学びの質の向上
 - ・ユニバーサルデザイン化を図った学習環境の整備



第236号
発行

奥多摩町教育委員会



町公式ホームページ

令和6年5月1日現在

児童数 141名

生徒数 63名

教職員数 44名

令和6年度の
学校の教育活動がスタート
しました。

各校の教育
目標と特色を
紹介します。



令和6年度 奥多摩町教育委員会の教育目標・基本方針

奥多摩町教育委員会では、憲法、教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、その他の教育関係諸法令並びに東京都教育委員会の方針等に基づき、町の現状と課題を踏まえて、教育目標と方針を定めています。

本年度、最初の発行にあたり、皆様に改めてお知らせするとともに、子供たちにとって将来を見据えたより良い教育環境の実現のために教育行政を推進してまいります。

【 教 育 目 標 】

互いの人格を尊重し、心身ともに健康で、かつ、知性、感性、道徳心に富んだ豊かな人間性を身に付け、広く国際的視野に貢献しようとする意識をもった町民の育成に努める。

自ら学び、自ら考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向け、学校教育、社会教育を充実し、生涯にわたって学習の場が得られるよう教育行政を推進する。

町の基本構想を指針とし、長期的展望に立って教育・文化・体育等の諸施策の充実に努め、町民憲章に定める目標の実現を目指す。

基本方針

奥多摩町教育委員会は「教育目標」を達成するために、以下の基本方針に基づき、教育施策を推進する。（各方針の説明については抜粋してあります。）

基本方針 1

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

子供たちが、自尊感情を高め、全ての命を大切にし、人を思いやり、社会の決まりを身に付けて健やかに成長できるように、郷土を愛し、自立した個人を育てる教育を行う。

基本方針 2

「確かな学力の定着」と「個性や創造力の伸長」の推進

確かな学力の定着と、個性と創造力を伸ばす教育を実践することにより、グローバル社会、情報化社会に対応することができる子供を育成する教育を推進する。

基本方針 3

「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実

家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携の推進を支援するとともに、町民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加する機会の充実に努める。

基本方針 4

「町民の教育参加」と「学校経営の改善」の推進

地域の特性を踏まえた広域的な視点に立つ教育行政を進めるとともに、町民に信頼される魅力ある学校づくり、開かれた学校づくりを目指した学校経営を支援する。

基本方針 5

「伝統文化の保存」と「郷土愛育成」の推進

郷土を知り、郷土を愛する心を育成し、町の発展に寄与しう町民を育てる。

【学校教育の指導目標】

◎…令和6年度重点目標

～通いたい、通い続けたい、通わせたい学校へ～

確かな学力

- ◎ 1 個に応じた指導の徹底
- 2 主体的・対話的で深い学びの推進
- 3 外国語教育の推進
- 4 ICT機器を活用した授業づくりの推進
- ◎ 5 保・小・中の連携（つなぎ・つなぐ）した指導の充実
- 6 家庭学習の充実
- 7 読書活動の推進

豊かな心

- 1 自他を大切にする心の育成
- 2 自尊感情・自己肯定感の向上
- ◎ 3 いじめ・不登校の未然防止、組織的な対応

健やかな体

- ◎ 1 心と体の健康の促進
- 2 適切な食習慣、運動習慣の定着化

奥多摩町の宝は子供たち！



氷川小学校

校長
こばやし りょうすけ
小林 亮介

この度の異動で伝統と歴史のある奥多摩町立氷川小学校長として着任いたしました小林亮介と申します。奥多摩勤務は初めてです。どうぞよろしくお願いいたします。

「奥多摩町の宝、主役は子供たち」であると強く思っています。教師と子供たち、子供同士の豊かな関わりと温かな人間関係を基盤に、「知・徳・体」バランスのとれた子供たちの育成に力を注いで参ります。

更に、奥多摩の大自然という素晴らしい教材と教育活動を支える地域の皆様のお力をお借りして、様々な体験活動を通して、奥多摩に育つ子供たちが郷土に誇りをもつことができるよう育てていきます。

結びになりますが、子供たち一人一人が自分のよさや個性を存分に発揮することができ学校、感動のある学校「明日が待ち遠しい」と思えるような氷川小学校」を目指して力を尽くして参ります。保護者、地域の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

氷川小学校副校長として



氷川小学校

副校長
いなば よしちか
稲葉 義愛

この度、氷川小学校の副校長を拝命いたしました稲葉義愛です。

昨年度まで氷川小学校で6年間、学級担任として勤務させていただきました。たくさんのお授業を保護者や地域の皆様と一緒にやることができました。

治助いもやワサビを使った食育やラインスタンプリング、OPT（オピト）の皆さんと一緒に考えた町おこし、サウンドガイドブックづくりなど。どれも保護者や地域の皆様の協力がなければ実現しなかった授業です。

「地域と学校の距離が近いこと」私はこれこそが奥多摩町の教育の何よりの強みだと考えています。引き続き学校へのご協力をお願いするとともに、子供たちのために、保護者、地域の皆様からのご要望にも精一杯応えていきたいと思っています。

素直で可愛い奥多摩の子供たちと引き続き一緒に過ごせることを心より嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして、よろしくお願い致します



奥多摩中学校

副校長
たけざわ ひろき
竹澤 大樹

今年度より奥多摩中学校の副校長を拝命いたしました竹澤大樹です。昭島市立瑞雲中学校より転任してきました。

はじめに自己紹介をさせていただきます。教科は数学で部活動はサッカー部や卓球部の顧問をしてきました。趣味は運動をするので、休日はランニングやウォーキングをして汗を流しています。顧問ではなくなり練習する機会も少なくなりましたが、サッカーや卓球をすることも趣味のひとつです。年に一度、卓球の教職員大会に出場しています。体を動かすこと全般が好きです。

この度、自然にあふれ、人情味も厚い奥多摩の地に勤務することができて、とても幸せに思います。地域の皆様方の温かい見守りの中にある奥多摩中学校が、より皆様に好かれる魅力ある学校となりますよう、副校長として全力を尽くしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、これからご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

「新たに着任された先生方からメッセージ」

奥多摩の魅力

古里小学校

とまりや
泊谷

なほのり
尚徳

八王子市立檜原小学校から異動して参りました、泊谷尚徳と申します。

古里小学校に来て職員室で仕事をしていると、外からモリアオガエルの合唱が聞こえてきます。この奥多摩ならではの自然の素晴らしさを毎日実感することが出ています。

子供たちの周りにあふれている奥多摩の魅力について更に深く掘り下げ、この地域でしか学べない学習を模索していきたいと思っています。そして、私自身、子供たちと一緒に考えていければと思っています。これから、どうぞよろしくお願ひいたします。

わくわくしています

氷川小学校

なかはら
中原

ひでふみ
秀文

異動して2か月がたちました。通勤電車内のハイカーの数も増え、どこの山を登るのかなあと

わくわくしてまいります。

氷川小学校でもわくわくにあふれています。一つめは、地域・行政・学校が密接につながり、自然体験を始めとした普段できない経験がたくさんあることです。

二つめは、子供たちが「こんなことしたいなあ」と考えたことが、すぐに実行されるフットワークの軽さです。

わくわくにあふれた氷川小学校で様々な経験を子供たちとしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

氷川小学校に着任して

氷川小学校

とくなが
徳永

まゆ
愛結

新規採用で氷川小学校に着任しました徳永愛結と申します。

豊かな自然と心温かい地域の皆様に囲まれた氷川小学校で教員となる夢を叶えられたこと、とても嬉しく思います。

着任から2か月が過ぎました。明るく元気で素直な可愛い子供たちと、頼もしい先生方から、日々たくさんのお話を学ばせて

いただいております。

子供たちにとって教室が安心できる居場所となるように、また、楽しく学習に取り組む中で自分の強みやよさに気付き、伸ばしていけるように、精一杯努力して参ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

奥多摩に赴任して

奥多摩中学校

いたみ
伊丹

さえこ

奥多摩中学校に着任しました美術科の伊丹と申します。

朝、奥多摩駅方面から学校まで歩いていくと、通学途中の小中学生とすれ違います。挨拶をすると、少しはにかみながら挨拶を返してくれます。子供たちは地域の方々から「おはよう。いつてらっしゃい。」と声をかけられながら、学校へ向かって歩いていきます。地域の温かな見守りの中で、のびのび育つ、奥多摩の子供たちの姿を感じます。

素晴らしい自然と、人の温かさを身近に感じることで、環境に身を置きながら教育に携われることに感謝し、力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

奥多摩町での新たな始まり

スクールソーシャルワーカー

かなざわ
金澤

かく

初めまして。新しくスクールソーシャルワーカーとして、昨年の7月に教育相談室に着任いたしました。皆様に温かく迎えていただき、心から感謝をしております。奥多摩町の特性を活かし、子供たちの心の成長を支え、学校生活が充実したものにできるよう全力でサポートしてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

子供たちの幸せのために

スクールソーシャルワーカー

かとう
加藤

よしこ
祥子

今年度からスクールソーシャルワーカーとして着任いたしました加藤です。

他の自治体でスクールソーシャルワーカーとして勤めた経験を活かし、自然豊かなこの町で、子供たちが生き生きと楽しく過ごせるように、力を発揮していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

令和 6 年度 教職員の人事異動がありました

令和 6 年 4 月 1 日現在

学校名	転 出 者			転 入 者 等		
	担 当	氏 名	新 任 校 等	担 当	氏 名	前 任 校 等
古里小	2 年 生 担	森 井 明 子	青梅市立第七小学校	4 年 生 担	とまりや なのり 泊 谷 尚 徳	八王子市立檜原小学校
氷川小	校 長	松 井 良	青梅市立第五小学校	校 長	こばやし りょうすけ 小 林 亮 介	世田谷区立塚戸小学校 (校長昇任)
	副 校 長	野 尻 迅 人	青梅市立第四小学校	副 校 長	いなば よしちか 稲 葉 義 愛	自校昇任 (副校長昇任)
	—	—	—	2 年 生 担	とくなが ま ゆ 徳 永 愛 結	新規採用
	—	—	—	特 別 支 援 教 室	なかほら ひでふみ 中 原 秀 文	三鷹市立井口小学校
奥多摩中	副 校 長	石 井 淳	日の出町立平井中学校 (校長昇任)	副 校 長	たけざわ ひろき 竹 澤 大 樹	昭島市立瑞雲中学校 (副校長昇任)
	美 術	鈴 木 明 莉	府中市立浅間中学校	美 術	いたみ さえこ 伊丹 さえこ	あきる野市立東中学校

＊教育相談室より＊

溜まった疲れにご注意を
スクールソーシャルワーカー
堀部 浩子

一般的に、人間は、慣れない環境や生活スタイルの変化に非常にストレスを感じます。特に、短期間のうちに生活が変化し、それにより受けるストレスが多いほど、気分が落ち込むなど不適応な状態になりやすくなります。それは大切な人との別れなど悲しい出来事だけでなく、結婚や引っ越しなどのポジティブな出来事でも大きなストレスになる場合があります。

5月の大型連休も過ぎ、子供たちも少しずつ新しい環境に慣れてきたかと思えます。コロナによる行動自粛も和らぎ、我慢していた分いろいろと挑戦したくなる頃ですね。しかし、新学期から頑張ってきて溜まった疲れがどっと出る時期でもあります。お子様の表情や言葉など、気になることがあります。ら、お気軽に相談ください。

＊教育相談室のご案内＊

【場 所】奥多摩町福祉会館2階

【開室日】月～金曜日

午前9時～午後4時

【お休み】土・日・祝日・年末年始

【相談の形】

○来室相談

○電話・メール相談

※来室相談は、電話、FAX、メール等で予約をお願いします。

【相談例】

・学校生活や日常生活でのお子様への心配（学校に行けない、登校渋り、友達と上手く遊べない、困った癖があるなど）

・お子様の発達に関するご相談（言葉の理解や発達が遅いように感じる、勉強に意欲が出ない、学力のことが心配など）

【その他できること】

・福祉手当やサービス、相談機関、医療機関などのご紹介

・お子様への指導・支援など

【電・FAX】(83)・2340

【メール】

okusoudan@town.okutama.tokyo.jp

奥多摩郷土芸能祭 開催のお知らせ

奥多摩郷土芸能祭が令和6年9月29日に開催されます。

平成4年11月1日に第1回、平成5年10月31日に第2回奥多摩郷土芸能祭が開催され、約30年振りの開催となります。この郷土芸能祭は、奥多摩町長期総合計画に基づき郷土芸能の継承を図るため、各地域の保存団体と町で協力して開催します。町内の芸能保存17団体による各地域の伝統芸能を披露することにより、未来へ向けて継承し、その魅力を発信していきます。

奥多摩町には、国重要無形民俗文化財に指定されている「小河内の鹿島踊」、「川野車人形」があります。また、東京都指定無形民俗文化財には「原の獅子舞」、「川野の獅子舞」、「小留浦の獅子舞」、「神庭の神楽」、「境の獅子舞」があります。各地域で受け継がれている獅子舞などの郷土芸能が披露されますので、多くの方のお越しをお待ちしています。

・日時 9月29日(日)

午前8時開会

8時15分開演

・会場 奥氷川神社境内

※雨天時の会場

氷川小学校体育館

【主催】

奥多摩郷土芸能祭実行委員会

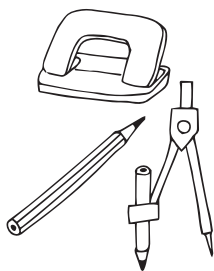


平成4年11月1日に開催された第1回奥多摩郷土芸能祭の様子

教育委員会の動き

(令和5年11月、令和6年4月)

- ◎11月定例会(11月28日)
 - ・教育長報告・教育課長報告他
- ◎12月定例会(12月25日)
 - ・議案第25号―奥多摩町教育支援センター利用の承認について
- ◎1月定例会(1月25日)
 - ・議案第1号―令和5年度教育課程の承認について
- ◎2月臨時会(2月7日)
 - ・議案第2号―奥多摩町立学校の管理職の任命について
- ◎2月定例会(2月28日)
 - ・教育長報告・教育課長報告他
- ◎3月定例会(3月28日)
 - ・議案第3号―転任校長及び転任副校長への感謝状の贈呈について他2議案
- ◎4月定例会(4月24日)
 - ・議案第6号―専決処分承認を求めることについて(令和6年度児童・生徒の教育課程について(届))



おくたまコラム

聞くみみ

「人は人と接して人になる」

教育長 野崎喜久美

奥多摩の「地域の絆」、それは字のごとく、「糸」をみんなが「半分ずつ」持ち、バランスをとりながら仲間づくりを進めていくということだと思います。お互いを思いやれる気持ち「心の豊かさ」こそがますます大切な時代になってきました。

「心の豊かさ」を育むためには人と人が深く接しながら育んでいくことが大切です。子供たちは、お手本になる大人に接することで、このふるさと奥多摩で人になっていきます。自分の身近に素敵なモデルがどれだけあるのか。

桜の花びらが舞う校庭で、「憧れの的(人)にたくさん出会って、やがて自分が憧れの的に育つてね！」新入生に願いを込めた入学式の朝でした。

※本号から新たに各教育委員のコラムを掲載していきます。



令和5年度奥多摩町学校給食センターの運営と決算報告

令和5年度は、年間給食回数、小学校185回・中学校196回を実施し、総食数は49,378食（小学校33,171食、中学校16,207食）を提供しました。前年と比較すると1,254食減少しました。

栄養面では、全体にバランスのとれた内容になるよう献立を工夫し、旬の素材を使用した、できるだけ手作りの給食を提供するように努力しております。また、調理後短時間で提供できるように努め、衛生面には特に注意を払っております。

給食費については、小学校は月額、低学年（1・2年生）4,100円、中学年（3・4年生）4,400円、高学年（5・6年生）4,700円、中学校は月額5,600円として運営しました。保護者の皆様からいただいた給食費は全て食材料費として使われ、1食当たりの食材料費は約290円となりました。また、収支については、歳入歳出差し引き不足額が生じるため、翌年度歳入充用金で歳入不足を補填しております。食材料費以外の人件費、光熱水費等については、全て町で負担しております。

なお町では、子ども・子育て支援推進事業の一環として、給食費の全額助成を行っており、保護者の皆様には一旦納入をお願いいたしますが、後から助成が行われております。

令和5年度奥多摩町学校給食センター会計収支決算書

自令和 5年4月 1日
至令和 6年3月31日
(単位:円)

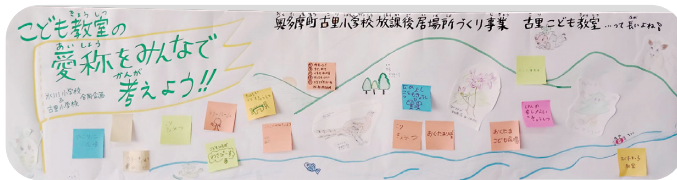
収入の部

科 目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1 給食費	15,187,160	14,992,382	△ 194,778	
1 児童給食費	6,894,160	6,691,580	△ 202,580	古里小 3,942,000 氷川小 2,749,580 過年度分 0
2 生徒給食費	3,948,000	3,981,600	33,600	奥多摩中 3,981,600 過年度分 0
3 職員給食費等	4,345,000	4,305,102	△ 39,898	古里小 1,300,242 氷川小 1,099,580 奥多摩中 1,254,400 センター 62,140 試食等 30,740
2 繰越金	0	0	0	
1 繰越金	0	0	0	前年度繰越金 0
3 雑収入他	840	11	△ 829	
1 雑収入	840	11	△ 829	預金利息
4 繰上充用金	0	23,177	23,177	
1 繰上充用金	0	23,177	23,177	歳入歳出差し引き不足額 23,177円 翌年度歳入充用金で歳入不足を補填
合 計	15,188,000	15,015,570	△ 172,430	

支出の部

科 目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1 主食費	1,936,000	1,882,532	△ 53,468	
1 米穀費	1,075,000	1,159,417	84,417	古里小135回、氷川小136回、奥多摩中143回
2 麺類費	267,000	238,857	△ 28,143	古里小18回、氷川小18回、奥多摩中18回
3 パン類費	594,000	484,258	△ 109,742	古里小31回、氷川小31回、奥多摩中35回
2 副食費	9,979,721	9,747,192	△ 232,529	
1 副食費	9,979,721	9,747,192	△ 232,529	古里小184回、氷川小185回、奥多摩中196回
3 牛乳費	3,147,000	3,305,534	158,534	
1 牛乳費	3,147,000	3,305,534	158,534	古里小184回、氷川小185回、奥多摩中196回
4 返還金	80,012	80,312	300	
1 返還金	80,012	80,312	300	
5 手数料	3,000	0	△ 3,000	
6 予備費	42,267	0	△ 42,267	
合 計	15,188,000	15,015,570	△ 172,430	

収支差引残金 0円



ネーミングイベント



こけテラリウムづくり

学童保育会との違いは

こども教室は、児童の自発的な活動ができる場所、様々な取り組みの提供をする事業です。登録すれば無料で利用可能で、ご家庭と児童本人の帰宅管理が必要ですが、自由に利用することができます。

放課後こども教室の愛称決定 「わさびーひろば」



3月1日から福祉保健課の「放課後居場所づくり事業」として、古里小学校・氷川小学校で「放課後こども教室」がスタートしました。3月にこども教室の愛称をみんなで考えるネーミングイベントを開催し、古里と氷川の両方で出た案「わさびーひろば」に決定しました。放課後の居場所として「わさびーひろば」に行ってくるね」と浸透していったらと思います。

放課後こども教室は町在住の全小学生を対象とした事業で、学童保育会とは違い、保護者の就労の要件はなく、登録すれば無料で利用することができます。

古里小学校での様子

古里小学校では、図書室Iで活動しています。4月になって、学童利用のない新一年生や、はじめて利用する児童もだんだん増えてきて、1日15名程度の児童が利用しています。

カレンダーづくりや、体を動かす「みんなであそぼう」などの毎月の行事もありますが、宿題や工作をしたり、友達とボードゲームを楽しんだり、放課後英語教室を楽しんだり、自分たちで自由に過ごすことを楽しんでいるようです。



放課後英語教室の様子

氷川小学校での様子



こけガチャ

氷川小学校では、多目的室または家庭科室で活動しています。開設時から2か月が経過し、徐々に利用人数が増え、現在1日10名程度の児童が利用しています。5月には奥多摩在住の職員による「こけテラリウムづくり」のイベントを実施し、こども教室、学童から約40名の児童が参加してくれました。ガチャガチャを回すと制作キットが入ったカプセルが出てきて、瓶に詰めて完成です。楽しく参加していました。

